



新地町立福田小学校だより

観瀾 かんらん

No.23

2021.12.15

文責 校長

奇跡のみかん

本校に「みかん園」があるのを皆さんはご存じでしょうか。平成30年3月、埴浜だいこんの会の皆様と一緒に、当時の全校生73名で73本のみかんの苗木を植えました。場所は「磯山展望緑地」。みかん栽培の北限と言われている広野町よりも、さらに北のこの土地でみかんを育てたいという、だいこんの会で中心となってご活躍なさっている三宅さんの熱い思いが、復興事業の関係機関の方々に届き、「福田小学校みかん園」が誕生しました。

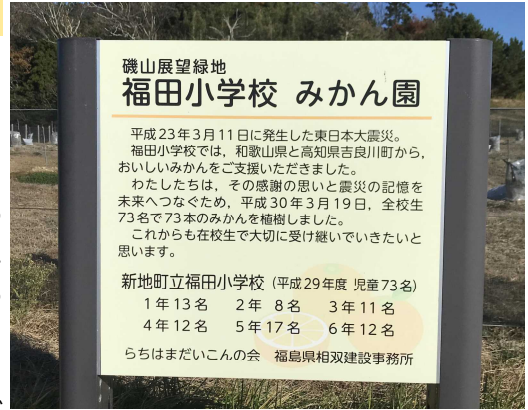


その後、毎年3、4年生が苗木の周りの草取りなどをしながら観察を続け、みかんができるのを楽しみにしてきました。順調に生育していた73本でしたが、今年4月の遅霜の被害に遭い、葉が落ち、さらに20数本は残念ながら枯れてしまいました。本来であれば今年あたり初めて実が成る予定だったのです。子どもたちはとても残念な思いをしました。そんな中、奇跡的に1本の木に小さな小さな緑色のみかんの実ができていました。津波という大きな自然の力に打ちのめされてしまってもまた立ち上がり、かつて自分が生活していたこの磯山の地でみかん栽培に挑戦する三宅さんの「不屈のチャレンジ精神」が、文字通り結実しました。

その後、みかんの実は太陽の光をたくさん浴びてきれいに色づき、大きくなりました。みかん園の隅に太陽に照らされた黄色の実は「希望の光」のようでした。

先日、大きくなった2つのみかんを収穫してきました。子どもたちには「奇跡のみかん」として全校集会で紹介しました。子どもたちは熱心に話を聞いてくれました。

来春には、枯れてしまった場所に新しい苗木を植える予定です。たくさんのみかんの実がみかん園一杯に成る日を願って、これからも「福田小みかん園」を大切にしていきたいと思えます。



外部講師の授業

昨年度よりしばらくの間、外部講師をお招きしての「特別授業」を中止しておりましたが、2学期は感染症対策を行い、可能な範囲で実施してきました。その道の専門家の方々から直接お話を伺い、ご指導を受けながら様々な体験をするのは、とても貴重な学びの場です。子どもたちは目を輝かせ楽しんで授業を受けています。同様に我々教員にとっても専門的な知識や技能を学ばせて頂く貴重な機会です。次年度においても「特別授業」を計画し、子どもたちの興味関心の幅を広げ、豊かな体験から学びにつなげていきたいと考えています。



森林環境学習



宇宙の授業



食育講座



書き初め指導